

第48回全国高等学校総合文化祭

2024ぎふ総文 書道部門

令和6年 8/2(金)～8/3(土)まで、岐阜県下呂市の下呂交流会館を会場に、開会式から交流会、そして講評会と閉会式が盛大におこなわれました。

岩手県代表として、本校から ^{こした} 越田 ^{れいな} 玲菜さん(2-3)が参加してきました。

交流会では、各都道府県の代表生徒とともに、作品を相互に鑑賞しあった後、制作交流として岐阜県産「東濃ひのき」筆筒や「美濃友禅和紙」しおりに揮毫しました。また、講評会において、越田さんの作品が紹介され、特別賞を受賞しました。



026 岩手県

「長恨歌」より

盛岡市立高等学校 2年

越田 玲菜

第48回全国高等学校総合文化祭
清流の国ぎふ総文2024
8/2(金)～8/3(土) 下呂交流会館

| | | | |
|--------|---|----|-------|
| 岩手県 | 盛岡市立高等学校 | 2年 | 越田 玲菜 |
| 作品制作意図 | 私は、中国の詩人、白居易の「長恨歌」を参考として、この文章を選んだ理由は、「華清」という華やかで清々しいという意味の字と、温泉水滑りかたという情景の美しさを感じたからです。「長恨歌」の永遠に悲しむ歌という意味を強く表現するため紙は朱色を使い、力を出しました。そして、繊細でやわらかい線意識し、全体バランスを工夫しました。また、日頃から、字形や墨量、大細を調整しながら一枚一枚丁寧に制作した作品です。 | | |

今年度は全国から三〇〇点の作品が集まりました。越田さんの作品は、白居易の「長恨歌」を題材として書いたものです。「清代行書の用筆を修得し、漢字と仮名を調和させ、豊かに表現した作品」と講評いただきました。